

第 52 回会合

11 月 6 日 CVV 定例会議事要旨

日時：2023 年 11 月 6 日(月) 午後 5 時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：17 名 (会員・会友)

古田・川谷・宇野・南荘・野坂・祝・鈴木・夏秋・吉岡・田中・石原・栗田・友廣・高田・齋木・
武内・黒山

オブザーバー参加：辻本 剛三氏 (新規加入予定者)

<配布資料>

- ① 9 月 4 日定例会議事要旨 (黒山)
- ② 2023 年度 CVV 講演会記録 (栗田)
- ③ 9 月 25 日 CVV 用語辞典チーム打合せ議事 (川谷)
- ④ 2023 年度 CVV 会計報告 (中間報告) (石原)
- ⑤ 関西支部と CVV の関係に関する打合せメモ (川谷)
- ⑥ シビル・ジャーニー in CVV (参考 澁谷氏より)

<主な議事>

古田代表の挨拶の後、新規加入予定の辻本剛三氏を宇野会員が紹介しその後ご本人が挨拶された。また、川谷幹事長宛てに加入希望連絡があった一ノ瀬ルイザ氏の新規加入が認められた。続いて、黒山が資料確認した。また、川谷幹事長が前回定例会の議事要旨 (資料①) を確認した。

1. 小森氏の講演会記録について (資料②)
 - ✓ 小森氏の講演記録である資料②の概要を報告した。また、会員からの感想も紹介された。(栗田)
2. 9 月 25 日 CVV 用語辞典チーム打合せ議事について (川谷)
 - ✓ 資料③に基づいて 9 月 25 日開催の CVV 用語辞典チームの打合せ内容を報告した。また、栗田会員が旧知の若手技術者と具体的な作成手法について相談した結果を補足的に説明した。
 - ✓ 網羅的に集めるのかテーマを絞るのかは決めておくべき。期限を決めて取り組んだ方がよいのでは。費用捻出のためには出版という手法も考えられる。(古田)
→メンバーで検討する。(川谷)
→ウィキペディア方式で情報収集し CVV ホームページへの掲載を想定するとイラスト制作等に費用が必要と考えた。(栗田)
3. 2023 年度 CVV 会計報告 (中間報告) について (石原)
 - ✓ 資料④に基づいて現時点での決算見込みを報告した。
4. 関西支部と CVV の関係に関する打合せについて (川谷)
 - ✓ 本資料作成に至る経緯とともに関西支部幹部との打ち合わせ内容 (事前の CVV 内部の打ち合わせ内容も含む) を報告した。(川谷)
 - ✓ 結論として関西支部シビルアカデミーへのアプローチは CVV 側からは行わないこととした。また、関西支部からの助成金は次年度以降無くなる。なお、今後の CVV と関西支部との関係構築については今後両方で検討していくこととなった。(川谷)
 - ✓ 支部は CVV に期待していない、企業等も働き方改革で支部活動を支えにくくなっている

支部活動自体が難しくなっている、本部も含め資金面で苦しい状況にある、などの印象を持った。(古田)

- ✓ CVV の活動の原点であるシニア層の学会活動等での活用方策については支部内で検討される予定。(川谷)

5. その他

- ✓ 奈良市内の土木遺産調査について参加数等を再確認した。見学会後のレポートにいずれの施設も歴史的背景を盛り込む予定。(南荘)
- ✓ 澁谷氏が土木学会成熟シビル委員会の小委員会の Note に掲載した資料⑥を紹介した。また、この内容に関して、小委員会元委員長駒田氏からメールでコメントが届いたことも紹介された。(川谷)
- ✓ 2023 年度関西土木工学交流発表会に発表したことが報告された。
- ✓ 今後の日程（大和川の橋梁調査、地盤工学会関西支部若手セミナー）が確認された。
- ✓ 次回定例会は 2024 年 1 月 9 日(火)に開催する。

〔文責：黒山〕